

国道169号の整備促進について

【担当省庁】国土交通省

市町村における取組

(現状・課題)

一般国道169号は「奈良中部熊野道路」広域道路ネットワーク(高規格道路)として位置付けられ、重要物流道路として、京阪神と東紀州地域を最短で結ぶ幹線道路であり、特に公共交通機関がなく、災害が発生した際の迂回路のない奈良県南東部地域の住民生活にとりましては、まさに「命の道」である。また、今後高い確率で発生が懸念されている南海トラフ巨大地震の際には、「紀伊半島アンカールート」の一翼として救援・輸送活動を支援する役割を担う道路であり、地域にとっては年間を通じて安定的に利用できる唯一の幹線道路である。令和6年能登半島地震により甚大な被害が発生したことを踏まえ、紀伊半島における災害への備え及び観光等の経済活動のため、人流・物流の活性化に向けた国道169号の整備が必要であることから、安心・安全な道路ネットワークを構築する重点整備が必要です。また、本年1月の政府の地震調査委員会では、南海トラフで想定される巨大地震の30年以内の発生確率をこれまでの「70%から80%」から「80%程度」に引き上げたと公表されたところである。

令和5年12月に下北山村上池原地内で崩土が発生した箇所は、別線トンネルルートとして本格復旧を国の権限代行により実施されることになり、災害復旧事業に着手いただいていることに感謝申し上げます。

しかし、川上村～上北山村～下北山村(三重県との県境)間においては、急峻な山間地域のため、急カーブ、狭隘箇所が連続し、各トンネル・橋梁の幅員も狭く、車両同士の交差が困難なほど大変危険な状況にある。

特に、川上村迫～下北山村(県境)までの区間においては、脆弱な箇所が多く、近年多発している局地的大雨や、台風等により法面崩壊や、雨量規制による通行止めが頻発し、広域の迂回路通行を余儀なくされ、地域住民の生活だけでなく観光客の集客にも多大な影響を与えている。

伯母峯峠道路、下北山村前鬼～上池原の復旧については、着手して頂いているが、引き続き道路に対する防災・安全・安心の意識を再度確認し、早急な道路整備を必要とする。



国にお願いすること

地域住民の安全・安心のため国土強靱化並びに経済の活性化、観光振興や平常時・災害時を問わない安定的な輸送の確保のため、下記について要望する。

1. 国道169号の着実な整備と必要な道路予算確保

【担当部署】 奈良県市長会・奈良県町村会